

1/5/1 (Item 1 from file: 351)  
DIALOG(R) File 351:Derwent WPI  
(c) 2002 Derwent Info Ltd. All rts. reserv.

012413806 \*\*Image available\*\*  
WPI Acc No: 1999-219914/ 199919  
XRPX Acc No: N99-162752

**Account transfer management apparatus for automatic teller machine (ATM) system - matches account number and transfer information, included in transfer information registration indication, so that transfer information can be searched and stored in memory according to account number**

Patent Assignee: YOKOHAMA GINKO KK (YOKO-N)  
Number of Countries: 001 Number of Patents: 001  
Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applicat No	Kind	Date	Week
JP 11053616	A	19990226	JP 97211074	A	19970806	199919 B

Priority Applications (No Type Date): JP 97211074 A 19970806

Patent Details:

Patent No	Kind	Lan	Pg	Main IPC	Filing Notes
JP 11053616	A		14	G07D-009/00	

Abstract (Basic): JP 11053616 A

NOVELTY - A host computer (20) is provided with a receiving unit (31) for a transfer information registration indication. An account number and a transfer information, included in the transfer information registration indication, are matched so that the transfer information can be searched and stored in a memory (21) according to account number. DETAILED DESCRIPTION - An ATM (40) is provided with a transmitting unit (51) which sends a transfer information registration indication, that includes a transfer information and an account number read from an ATM card, to a host computer (20).

USE - For ATM system.

ADVANTAGE - Saves labor for both transfer client and bank, thus increasing account transfer management efficiency. Ensures safety of ATM transactions. Reduces input operations in transfer process, thus improving customer service. DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the block diagram of an account transfer management apparatus. (20) Host computer; (21) Memory; (31) Receiving unit; (40) ATM; (51) Transmitting unit.

Dwg.1/19

Title Terms: ACCOUNT; TRANSFER; MANAGEMENT; APPARATUS; AUTOMATIC; TELLER; MACHINE; ATM; SYSTEM; MATCH; ACCOUNT; NUMBER; TRANSFER; INFORMATION; TRANSFER; INFORMATION; REGISTER; INDICATE; SO; TRANSFER; INFORMATION; CAN; SEARCH; STORAGE; MEMORY; ACCORD; ACCOUNT; NUMBER

Derwent Class: T05

International Patent Class (Main): G07D-009/00

File Segment: EPI

1/5/2 (Item 1 from file: 347)  
DIALOG(R) File 347:JAPIO  
(c) 2002 JPO & JAPIO. All rts. reserv.

06112083 \*\*Image available\*\*  
TRANSFER MANAGEMENT DEVICE AND TRANSFER MANAGEMENT METHOD

PUB. NO.: 11-053616 A]  
PUBLISHED: February 26, 1999 (19990226)  
INVENTOR(s): SHIMAYAMA YUKIHARU  
MISHIMA AKIHITO  
KIJIMA YOSHITAKA  
APPLICANT(s): YOKOHAMA GINKOU KK  
APPL. NO.: 09-211074 [JP 97211074]

FILED: August 06, 1997 (19970806)  
INTL CLASS: G07D-009/00

#### ABSTRACT

PROBLEM TO BE SOLVED: To designate a transfer destination or the like by a simple operation without using a transfer card together and to register the transfer destination to a host computer of the bank without previously reporting it by a document or the like.

SOLUTION: After an automatic teller machine(ATM) 40 confirms an individual by the agreement an identification number read from a fed cash card and an identification card inputted by an operator, the machine 40 receives transfer opposite party information for indicating a transfer opposite party or the like from the operator and transmits a transfer information registration instruction including the information and an account number of the host computer 20 installed in a bank main branch or the like. Then, the host computer 20 relates the account number with the transfer opposite party information so as to retrieve the transfer opposite party information from the account number and registers them in a transfer information storage means 21.

COPYRIGHT: (C)1999,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-53616

(43) 公開日 平成11年(1999) 2月26日

(51) Int.Cl.<sup>8</sup>

G 0 7 D 9/00

識別記号

4 6 1

F I

G 0 7 D 9/00

4 6 1 Z

審査請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 14 頁)

(21) 出願番号

特願平9-211074

(22) 出願日

平成9年(1997) 8月6日

(71) 出願人 597111590

株式会社 横浜銀行

神奈川県横浜市西区みなとみらい3丁目1  
番1号

(72) 発明者 島山 幸晴

神奈川県横浜市西区みなとみらい3丁目1  
番1号 株式会社横浜銀行内

(72) 発明者 三島 亜紀人

神奈川県横浜市西区みなとみらい3丁目1  
番1号 株式会社横浜銀行内

(72) 発明者 木島 由貴

神奈川県横浜市西区みなとみらい3丁目1  
番1号 株式会社横浜銀行内

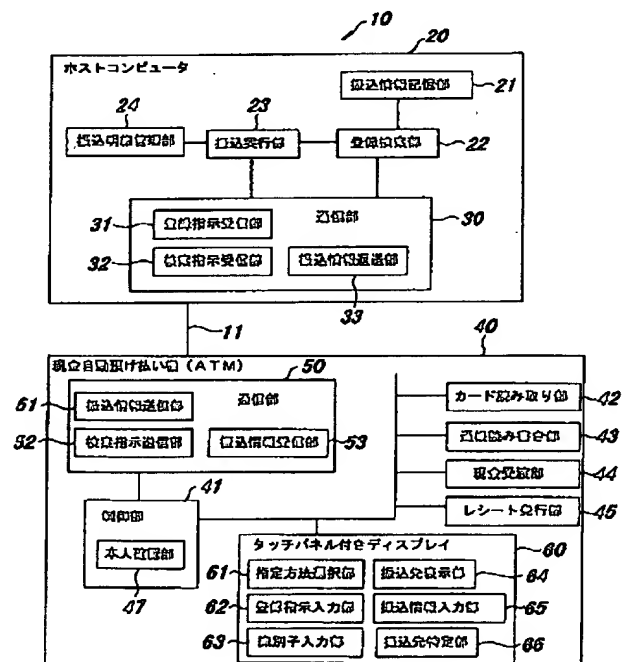
(74) 代理人 弁理士 笹井 浩毅

(54) 【発明の名称】 振込管理装置 および振込管理方法

(57) 【要約】

【課題】 振込カードを併用せずに振込先等を簡易な操作で指定できるとともに、当該振込先を書面等で事前に届け出ることなく銀行側のホストコンピュータに登録することのできる振込管理装置および振込管理方法を提供する。

【解決手段】 現金自動預け払い機 (A T M) 40は、投入されたキャッシュカードから読み取った暗証番号と操作者の入力した暗証番号の一致により本人確認を行った後、操作者から振込相手先等を表した振込相手先情報を受け付け、この情報と口座番号とを含む振込情報登録指示を銀行本店等に設置したホストコンピュータ20へ送信する。これを受けたホストコンピュータ20は、その口座番号と振込相手先情報とを当該口座番号から振込相手先情報を検索し得るように対応付けて振込情報記憶手段21に登録する。



10...振込情報記憶手段  
11...通信線

## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】通信回線を通じてホストコンピュータに接続された現金自動預け払い機から振込についての操作を行い得る振込管理装置において、

前記現金自動預け払い機は、本人確認手段と、振込情報入力手段と、振込情報送信手段とを備え、

前記ホストコンピュータは、登録指示受信手段と、振込情報記憶手段とを備え、

前記現金自動預け払い機の有する前記本人確認手段は、投入されたキャッシュカードから読み取ったアクセス権の有無を確認するための識別情報と操作者から入力された識別情報との一致により前記操作者が前記キャッシュカードに登録された口座番号の示す口座へのアクセス権を有することを確認し、

前記振込情報入力手段は、前記本人確認手段によってアクセス権が確認された後前記操作者から振込相手先を特定するための振込相手先情報の入力を受け付け、

前記振込情報送信手段は、少なくとも前記振込情報入力手段から入力された前記振込相手先情報と前記キャッシュカードから読み取った口座番号とを含む振込情報登録指示を前記ホストコンピュータへ送信し、

前記ホストコンピュータは、前記登録指示受信手段によって前記現金自動預け払い機から前記振込情報登録指示を受信したとき、これに含まれる口座番号と振込相手先情報とを当該口座番号から前記振込相手先情報を検索し得るように対応付けて前記振込情報記憶手段へ登録することを特徴とする振込管理装置。

【請求項 2】通信回線を通じてホストコンピュータに接続された現金自動預け払い機から振込についての操作を行い得る振込管理装置において、

前記現金自動預け払い機は、本人確認手段と、指定方法選択手段と、登録指示入力手段と、振込情報入力手段と、振込情報送信手段と、検索指示送信手段と、振込情報受信手段と、振込先表示手段と、振込先特定手段とを備え、

前記ホストコンピュータは、登録指示受信手段と、振込情報記憶手段と、検索指示受信手段と、振込情報検索手段と、振込情報返送手段とを備え、

前記現金自動預け払い機の有する前記本人確認手段は、投入されたキャッシュカードから読み取ったアクセス権の有無を確認するための識別情報と操作者から入力された識別情報との一致により前記操作者が前記キャッシュカードに登録された口座番号の示す口座へのアクセス権を有することを確認し、

前記振込情報入力手段は、前記本人確認手段によってアクセス権が確認されかつ振込先を新たに指定する旨の指示を前記指定方法選択手段を通じて前記操作者から受けたとき、当該操作者から振込相手先を特定するための振込相手先情報の入力を受け付け、

前記振込情報送信手段は、前記振込情報入力手段から入

力した振込相手先情報を前記ホストコンピュータに登録する旨の指示を前記登録指示入力手段を通じて前記操作者から受けたとき、少なくとも前記振込情報入力手段から入力された振込相手先情報と前記キャッシュカードから読み取った口座番号とを含む振込情報登録指示を前記ホストコンピュータへ送信し、

前記ホストコンピュータは、前記振込情報受信手段によって前記現金自動預け払い機から前記振込情報登録指示を受信したとき、これに含まれる口座番号と振込相手先情報とを当該口座番号から前記振込相手先情報を検索し得るように対応付けて前記振込情報記憶手段へ登録し、前記現金自動預け払い機の有する検索指示送信手段は、前記本人確認手段によってアクセス権が確認されかつ既に登録されている振込先の中から今回の振込先を選択する旨の指示を前記指定方法選択手段を通じて前記操作者から受けたとき、少なくとも前記キャッシュカードから読み取った口座番号を含む振込先検索指示を前記ホストコンピュータへ送信し、

前記ホストコンピュータの有する前記振込情報検索手段は、前記検索指示受信手段によって前記現金自動預け払い機から前記振込先検索指示を受信したとき、これに含まれる口座番号に対応付けられている振込相手先情報を前記振込情報記憶手段から検索し、

前記振込情報返送手段は、前記振込情報検索手段によって検索された振込相手先情報を前記振込先検索指示の送信元の現金自動預け払い機に返送し、

前記現金自動預け払い機の有する前記振込先表示手段は、前記振込情報受信手段によって前記ホストコンピュータから前記振込相手先情報を受信したとき、返送されてきた振込相手先情報に含まれる振込相手先を一覧表示し、

前記振込先特定手段は、前記振込先表示手段に一覧表示された振込相手先の中の 1 つを特定する操作を前記操作者から受け付け、特定された振込相手先を今回の振込相手先として設定することを特徴とする振込管理装置。

【請求項 3】通信回線を通じてホストコンピュータに接続された現金自動預け払い機から振込についての操作を行い得る振込管理装置において、

前記現金自動預け払い機は、本人確認手段と、振込情報入力手段と、振込情報送信手段とを備え、

前記ホストコンピュータは、登録指示受信手段と、振込情報記憶手段と、振込実行手段とを備え、

前記現金自動預け払い機の有する前記本人確認手段は、投入されたキャッシュカードから読み取ったアクセス権の有無を確認するための識別情報と操作者から入力された識別情報との一致により前記操作者が前記キャッシュカードに登録された口座番号の示す口座へのアクセス権を有することを確認し、

前記振込情報入力手段は、前記本人確認手段によってアクセス権が確認された後、振込相手先、振込金額など定

10

20

30

40

50

期的な振込を行うために要する情報として予め定めた経常振込情報の入力の前記操作者から受け付け、前記振込情報送信手段は、少なくとも前記振込情報入力手段から入力された前記経常振込情報と前記キャッシュカードから読み取った口座番号とを含む振込情報登録指示を前記ホストコンピュータへ送信し、前記ホストコンピュータの有する前記振込明細登録手段は、前記登録指示受信手段によって前記現金自動預け払い機から前記振込情報登録指示を受信したとき、これに含まれる口座番号と前記経常振込情報とを対応付けて前記振込情報記憶手段に登録し、前記振込実行手段は、前記振込情報記憶手段に記憶されている前記経常振込情報に基づいてこれに対応付けられている口座番号の口座から定期的な振込を行うことを特徴とする振込管理装置。

【請求項4】前記振込先表示手段は、表示すべき振込相手先が所定数以上あるとき、表示対象を絞り込むための検索情報を操作者から受け付け、当該検索情報に合致する振込相手先のみを表示することを特徴とする請求項2記載の振込管理装置。

【請求項5】前記ホストコンピュータの備える前記振込情報記憶手段に、各口座番号と対応付けて当該口座の名称人情報を予め登録しておき、各口座から振込を行うときその口座の口座番号に対応付けて登録されている前記名称人情報を振込依頼人を表す情報として用いることを特徴とする請求項1、2、3または4記載の振込管理装置。

【請求項6】前記振込情報入力手段から入力された振込先への振込を実行した後、前記操作者に今回の振込先を前記ホストコンピュータに登録する可否かを問い合わせることを特徴とする請求項1、2、3、4または5記載の振込管理装置。

【請求項7】通信回線を介して所定の口座からの資金移動を受け付けるとき、前記現金自動預け払い機からの振込情報登録指示に基づいて前記振込情報記憶手段に前記口座の口座番号と対応付けて既に登録されている振込相手先情報または経常振込情報の示す振込先を、当該口座の名称人に認証されている振込先として用いることを特徴とする請求項1、2、3、4、5または6記載の振込管理装置。

【請求項8】通信回線を通じてホストコンピュータに接続された現金自動預け払い機からの振込処理を管理する振込管理方法において、前記現金自動預け払い機は、投入されたキャッシュカードから読み取ったアクセス権の有無を確認するための識別情報と操作者から入力された識別情報との一致により前記操作者が前記キャッシュカードに登録された口座番号の示す口座へのアクセス権を有することを確認した後、前記操作者から振込相手先を特定するための振込相手先情報の入力を受け付け、少なくともこれと前記キャ

ッシュカードから読み取った口座番号とを含む振込情報登録指示を前記ホストコンピュータへ送信し、前記ホストコンピュータは、前記現金自動預け払い機から前記振込情報登録指示を受信したとき、これに含まれる口座番号と振込相手先情報とを当該口座番号から前記振込相手先情報を検索し得るように対応付けて登録することを特徴とする振込管理方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

10 【発明の属する技術分野】本発明は、通信回線を通じてホストコンピュータに接続された現金自動預け払い機から振込についての操作を行い得る振込管理装置および振込管理方法に関する。

【0002】

20 【従来の技術】従来、現金自動預け払い機（オートメイトテラズマシン、以下ATMという。）から、同一の振込相手先に繰り返し振込処理を行う場合、振込依頼人の操作負担を軽減するため磁気ストライプ等に振込相手先の名称や口座番号等を登録した専用の振込カードを作成していた。

【0003】この振込カードをATMに投入して振込を行うことで、振込依頼人は振込相手先を入力する手間から開放されるとともに、誤操作によって誤った振込先へ入金されるような事態が防止されるようになっている。

30 【0004】しかしながら、ATMで振込依頼人の口座から振込相手先の口座へ振込を行う場合には、振込依頼人はキャッシュカードと振込カードとを併用しなければならず、これら双方を持参することが煩雑であった。また、磁気ストライプの記憶容量の制限から、通常、振込カードには1件または2件の振込相手先しか登録できず、振込相手先が増えればそれだけ多数の振込カードを管理しなければならなかった。

40 【0005】そこで、このような点に改良を施した振込管理装置が登録実用新案公報第3018299号に開示されている。この装置では振込先データを振込依頼人から受け取り、これを振込依頼人の口座番号に対応付けて予め銀行側のホストコンピュータに登録している。そしてキャッシュカードのみを投入してATMから振込を行うとき、銀行側のホストコンピュータに事前に登録してある振込先をATMの表示画面に一覧表示し、これらの中から振込依頼人がワンタッチで振込先を選択し得るようになっている。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、このような従来の技術では、振込依頼人は、振込先データを書面等で予め銀行に届け出る必要があり、また届出を受けた銀行側はこれをホストコンピュータに登録しなければならず、これらの手間が大変面倒で煩雑であった。

50 【0007】また、家賃の支払いや仕送りなど、毎月、定例的な振込を行うには、その都度ATMから振り込む

か、定例的な振込を行う旨の自動送金契約を書面等により予め銀行と締結しなければならなかった。

【0008】さらにエレクトロニックバンキング（E B）やインターネットバンキングなど通信回線を通じて遠隔から資金移動を行う場合、書面等により事前に振込先の届け出を行う必要があり、届出の手間が煩わしいとともにE B等の長所である即時性を十分に生かせないという問題があった。

【0009】本発明は、このような従来の技術が有する問題点に着目してなされたもので、振込カードを併用せずに振込先を簡易な操作で指定できるとともに、当該振込先を書面等で事前に届け出ることなく銀行側のホストコンピュータに登録することのできる振込管理装置および振込管理方法を提供することを目的としている。

【0010】

【課題を解決するための手段】かかる目的を達成するための本発明の要旨とするところは、次の各項の発明に存する。

【1】通信回線（11）を通じてホストコンピュータ（20）に接続された現金自動預け払い機（40）から振込についての操作を行い得る振込管理装置において、前記現金自動預け払い機（40）は、本人確認手段（47）と、振込情報入力手段（65）と、振込情報送信手段（51）とを備え、前記ホストコンピュータ（20）は、登録指示受信手段（31）と、振込情報記憶手段（21）とを備え、前記現金自動預け払い機（40）の有する前記本人確認手段（47）は、投入されたキャッシュカードから読み取ったアクセス権の有無を確認するための識別情報と操作者から入力された識別情報との一致により前記操作者が前記キャッシュカードに登録された口座番号の示す口座へのアクセス権を有することを確認し、前記振込情報入力手段（65）は、前記本人確認手段（47）によってアクセス権が確認された後前記操作者から振込相手先を特定するための振込相手先情報の入力を受け付け、前記振込情報送信手段（51）は、少なくとも前記振込情報入力手段（65）から入力された前記振込相手先情報と前記キャッシュカードから読み取った口座番号とを含む振込情報登録指示を前記ホストコンピュータ（20）へ送信し、前記ホストコンピュータ（20）は、前記登録指示受信手段（31）によって前記現金自動預け払い機（40）から前記振込情報登録指示を受信したとき、これに含まれる口座番号と振込相手先情報とを当該口座番号から前記振込相手先情報を検索し得るように対応付けて前記振込情報記憶手段（21）へ登録することを特徴とする振込管理装置。

【0011】【2】通信回線（11）を通じてホストコンピュータ（20）に接続された現金自動預け払い機（40）から振込についての操作を行い得る振込管理装置において、前記現金自動預け払い機（40）は、本人確認手段（47）と、指定方法選択手段（61）と、登

録指示入力手段（62）と、振込情報入力手段（65）と、振込情報送信手段（51）と、検索指示送信手段（52）と、振込情報受信手段（53）と、振込先表示手段（64）と、振込先特定手段（66）とを備え、前記ホストコンピュータ（20）は、登録指示受信手段（31）と、振込情報記憶手段（21）と、検索指示受信手段（32）と、振込情報検索手段（22）と、振込情報返送手段（33）とを備え、前記現金自動預け払い機（40）の有する前記本人確認手段（47）は、投入されたキャッシュカードから読み取ったアクセス権の有無を確認するための識別情報と操作者から入力された識別情報との一致により前記操作者が前記キャッシュカードに登録された口座番号の示す口座へのアクセス権を有することを確認し、前記振込情報入力手段（65）は、前記本人確認手段（47）によってアクセス権が確認されかつ振込先を新たに指定する旨の指示を前記指定方法選択手段（61）を通じて前記操作者から受けたとき、当該操作者から振込相手先を特定するための振込相手先情報の入力を受け付け、前記振込情報送信手段（51）は、前記振込情報入力手段（65）から入力した振込相手先情報を前記ホストコンピュータ（20）に登録する旨の指示を前記登録指示入力手段（62）を通じて前記操作者から受けたとき、少なくとも前記振込情報入力手段（65）から入力された振込相手先情報と前記キャッシュカードから読み取った口座番号とを含む振込情報登録指示を前記ホストコンピュータ（20）へ送信し、前記ホストコンピュータ（20）は、前記振込情報受信手段（53）によって前記現金自動預け払い機（40）から前記振込情報登録指示を受信したとき、これに含まれる口座番号と振込相手先情報とを当該口座番号から前記振込相手先情報を検索し得るように対応付けて前記振込情報記憶手段（21）へ登録し、前記現金自動預け払い機（40）の有する検索指示送信手段（52）は、前記本人確認手段（47）によってアクセス権が確認されかつ既に登録されている振込先の中から今回の振込先を選択する旨の指示を前記指定方法選択手段（61）を通じて前記操作者から受けたとき、少なくとも前記キャッシュカードから読み取った口座番号を含む振込先検索指示を前記ホストコンピュータ（20）へ送信し、前記ホストコンピュータ（20）の有する前記振込情報検索手段（22）は、前記検索指示受信手段（32）によって前記現金自動預け払い機（40）から前記振込先検索指示を受信したとき、これに含まれる口座番号に対応付けられている振込相手先情報を前記振込情報記憶手段（21）から検索し、前記振込情報返送手段（33）は、前記振込情報検索手段（22）によって検索された振込相手先情報を前記振込先検索指示の送信元の現金自動預け払い機（40）に返送し、前記現金自動預け払い機（40）の有する前記振込先表示手段（64）は、前記振込情報受信手段（53）によって前記ホストコンピュータ

(20) から前記振込相手先情報を受信したとき、返送されてきた振込相手先情報に含まれる振込相手先を一覧表示し、前記振込先特定手段(66)は、前記振込先表示手段(64)に一覧表示された振込相手先の中の1つを特定する操作を前記操作者から受け付け、特定された振込相手先を今回の振込相手先として設定することを特徴とする振込管理装置。

【0012】[3] 通信回線(11)を通じてホストコンピュータ(20)に接続された現金自動預け払い機

(40) から振込についての操作を行い得る振込管理装置において、前記現金自動預け払い機(40)は、本人確認手段(47)と、振込情報入力手段(65)と、振込情報送信手段(51)とを備え、前記ホストコンピュータ(20)は、登録指示受信手段(31)と、振込情報記憶手段(21)と、振込実行手段(23)とを備え、前記現金自動預け払い機(40)の有する前記本人確認手段(47)は、投入されたキャッシュカードから読み取ったアクセス権の有無を確認するための識別情報と操作者から入力された識別情報との一致により前記操作者が前記キャッシュカードに登録された口座番号の示す口座へのアクセス権を有することを確認し、前記振込情報入力手段(65)は、前記本人確認手段(47)によってアクセス権が確認された後、振込相手先、振込金額など定期的な振込を行うために要する情報として予め定めた経常振込情報の入力を前記操作者から受け付け、前記振込情報送信手段(51)は、少なくとも前記振込情報入力手段(65)から入力された前記経常振込情報と前記キャッシュカードから読み取った口座番号とを含む振込情報登録指示を前記ホストコンピュータ(20)へ送信し、前記ホストコンピュータ(20)の有する前記振込明細登録手段は、前記登録指示受信手段(31)によって前記現金自動預け払い機(40)から前記振込情報登録指示を受信したとき、これに含まれる口座番号と前記経常振込情報とを対応付けて前記振込情報記憶手段(21)に登録し、前記振込実行手段(23)は、前記振込情報記憶手段(21)に記憶されている前記経常振込情報に基づいてこれに対応付けられている口座番号の口座から定期的な振込を行うことを特徴とする振込管理装置。

【0013】[4] 前記振込先表示手段(64)は、表示すべき振込相手先が所定数以上あるとき、表示対象を絞り込むための検索情報を操作者から受け付け、当該検索情報に合致する振込相手先のみを表示することを特徴とする[2]記載の振込管理装置。

【0014】[5] 前記ホストコンピュータ(20)の備える前記振込情報記憶手段(21)に、各口座番号と対応付けて当該口座の名義人情報を予め登録しておき、各口座から振込を行うときその口座の口座番号に対応付けて登録されている前記名義人情報を振込依頼人を表す情報として用いることを特徴とする[1]、[2]、

[3] または[4] 記載の振込管理装置。

【0015】[6] 前記振込情報入力手段(65)から入力された振込先への振込を実行した後、前記操作者に今回の振込先を前記ホストコンピュータ(20)に登録するか否かを問い合わせることを特徴とする[1]、

[2]、[3]、[4] または[5] 記載の振込管理装置。

【0016】[7] 通信回線(11)を介して所定の口座からの資金移動を受け付けるとき、前記現金自動預け払い機(40)からの振込情報登録指示に基づいて前記振込情報記憶手段(21)に前記口座の口座番号と対応付けて既に登録されている振込相手先情報または経常振込情報の示す振込先を、当該口座の名義人に認証されている振込先として用いることを特徴とする[1]、

[2]、[3]、[4]、[5] または[6] 記載の振込管理装置。

【0017】[8] 通信回線を通じてホストコンピュータに接続された現金自動預け払い機からの振込処理を管理する振込管理方法において、前記現金自動預け払い機は、投入されたキャッシュカードから読み取ったアクセス権の有無を確認するための識別情報と操作者から入力された識別情報との一致により前記操作者が前記キャッシュカードに登録された口座番号の示す口座へのアクセス権を有することを確認した後、前記操作者から振込相手先を特定するための振込相手先情報の入力を受け付け、少なくともこれと前記キャッシュカードから読み取った口座番号とを含む振込情報登録指示を前記ホストコンピュータへ送信し、前記ホストコンピュータは、前記現金自動預け払い機から前記振込情報登録指示を受信したとき、これに含まれる口座番号と振込相手先情報とを当該口座番号から前記振込相手先情報を検索し得るように対応付けて登録することを特徴とする振込管理方法。

【0018】前記本発明は次のように作用する。現金自動預け払い機(40)の有する本人確認手段(47)は、投入されたキャッシュカードから読み取ったアクセス権の有無を確認するための識別情報と操作者から入力された識別情報との一致により当該操作者がキャッシュカードに登録された口座番号の示す口座へのアクセス権を有する者であることを確認する。

【0019】振込情報入力手段(65)は、本人確認手段(47)によってアクセス権が確認された後、操作者から振込相手先を特定するための振込相手先情報の入力を受け付け、振込情報送信手段(51)は、少なくとも振込情報入力手段(65)から入力された振込相手先情報とキャッシュカードから読み取った口座番号とを含む振込情報登録指示を銀行本店等に設置してあるホストコンピュータ(20)に送信する。

【0020】銀行側のホストコンピュータ(20)は、登録指示受信手段(31)によって現金自動預け払い機(40)から振込情報登録指示を受信したとき、これに

含まれる口座番号と振込相手先情報とを当該口座番号から振込相手先情報を検索し得るように対応付けて振込情報記憶手段(21)に登録する。

【0021】このようにATMから銀行側のホストコンピュータ(20)に振込依頼人の口座番号に対応付けて振込先を登録することができるので、事前に書面等で振込先の届出を行う必要がなく、振込依頼人および銀行側双方の手間を削減することができる。また、暗証番号等の識別情報で口座へのアクセス権を確認してから、振込先の登録を受け付けるので、書面で届出を行う場合と同等に取引の安全を確保することができる。

【0022】さらに、現金自動預け払い機(40)の有する検索指示送信手段(52)は、本人確認手段(47)によってアクセス権が確認されかつ既に登録されている振込先の中から今回の振込先を選択する旨の指示を操作者から受けたとき、少なくともキャッシュカードから読み取った口座番号を含む振込先検索指示をホストコンピュータ(20)へ送信する。これを受信したホストコンピュータ(20)は、受け取った口座番号に対応付けられている振込相手先情報を振込情報記憶手段(21)から検索するとともに、検索結果の振込相手先情報を振込先検索指示の送信元である現金自動預け払い機(40)へ返送する。

【0023】現金自動預け払い機(40)の有する振込先表示手段(64)は、ホストコンピュータ(20)から振込相手先情報を受信したとき、これに含まれる振込相手先を一覧表示する。振込先特定手段(66)は、振込先表示手段(64)に一覧表示された振込相手先の中の1つを特定する操作を操作者から受け付け、特定された振込相手先を今回の振込相手先として設定し、これに基づき以後の振込処理は実行される。

【0024】このようにキャッシュカード投入後に本人確認が行われた段階で、当該口座番号に対応付けて登録されている振込先を銀行側のホストコンピュータ(20)から検索し、現金自動預け払い機(40)の画面上に一覧表示するので、専用の振込カードを併用することなくキャッシュカードのみを用いて振込操作の簡略化を十分に図ることができる。

【0025】また、登録されている振込相手先が所定数以上あるとき、表示対象を絞り込むための検索情報を操作者から受け付け、当該検索情報に合致する振込相手先のみを表示ようにしたもので、多数の振込先の中から今回の振込先を迅速かつ容易に選択することができる。

【0026】さらに、現金自動預け払い機(40)は、本人確認手段(47)によってアクセス権が確認された後、振込相手先、振込金額、振込指定日など定期的な振込を行うために要する情報として予め定めた経常振込情報の入力を操作者から受け付け、その内容を示す振込情報登録指示をホストコンピュータ(20)に送信する。

【0027】これを受けたホストコンピュータ(20)

は、受信した振込情報登録指示に含まれる口座番号と経常振込情報とを対応付けて振込情報記憶手段(21)に登録するとともに、以後、振込情報記憶手段(21)に記憶されている経常振込情報に基づいてこれに対応付けられている口座番号の口座からの振込を定期的に繰り返し実行する。このように現金自動預け払い機(40)から月次定例的な振込を行う旨の自動送金契約を締結することができるので、家賃の支払など継続的振込における利便性を向上することができる。

10 【0028】またホストコンピュータ(20)の備える振込情報記憶手段(21)に、各口座番号と対応付けて当該口座の名義人情報を予め登録しておき、各口座から振込を行うときその口座の口座番号に対応付けて登録されている名義人情報を振込依頼人を表す情報として用いる。これにより、振込の際、キャッシュカードを投入すれば振込依頼人の名称等を入力する必要がなく、振込操作のより一層の簡略化を図ることができる。

20 【0029】さらに、振込情報入力手段(65)から入力された振込先への振込を実行した後、操作者に今回の振込先をホストコンピュータ(20)に登録するか否かを問い合わせることで、確実に存在する振込先のみを登録することができる。また登録のための入力操作を別途行う必要がなく、操作がより簡便なものになる。

30 【0030】なお、現金自動預け払い機(40)からの振込情報登録指示に基づいて振込情報記憶手段(21)に口座番号と対応付けて既に登録されている振込相手先情報または経常振込情報の示す振込先を、通信回線(11)を介して所定の口座からの資金移動を受け付ける際における当該口座の名義人に認証された振込先として用いる。これによりエレクトロニックバンキング(EB)やインターネットバンキングを行う場合に、振込先を書面等で事前に届け出る必要がなくなり、これらの有する即時性・利便性を十分に生かすことができる。また、現金自動預け払い機(40)から登録した振込先は、その口座へのアクセス権を確認した後に行われるので、これをEB等における振込先として用いても取引の安全性を十分に確保することができる。

【0031】

40 【発明の実施の形態】以下、図面に基づき本発明の一の実施の形態を説明する。各図は本発明の一の実施の形態を示している。図1および図2に示すように、振込管理装置10は、口座への入出金等を管理するホストコンピュータ20と、通信回線11を通じてホストコンピュータ20に接続された現金自動預け払い機(ATM)40とから成る。本実施の形態における振込管理装置10では、図2に示すように、たとえば振込依頼人(A)71がキャッシュカードを用いてATM40から振込を行った際に、今回の振込先を表す振込先データ72をキャッシュカードの示す口座(今回の振込における支払口座)73の口座番号に対応付けてホストコンピュータ20に

登録できるようになっている。

【0032】また、既に登録されている振込先へATM40からキャッシュカードを用いて振込を行う場合には、ホストコンピュータ20に既に登録されている振込先データ72をキャッシュカードから読み取った口座番号をキーとして検索してATM40側で一覧表示し、これらの中から今回の振込先を振込依頼人(A)71が任意に選択し得ようになっている。

【0033】図1は、振込管理装置10の構成を機能的に示したものである。ホストコンピュータ20は、たとえば銀行の本店等に設置され、ATM40は本店および各支店にそれぞれ設置される。ホストコンピュータ20は、ATM40との間の通信を司る通信部30と、振込情報記憶部21と、登録検索部22と、振込実行部23と、振込明細記管理部24とを備えている。

【0034】このうち振込情報記憶部21は、振込相手先の名称や振込相手先の口座番号など振込先に関する各種情報を表した振込相手先情報を支払先の口座の口座番号に対応付けて記憶する部分である。登録検索部22は、振込情報記憶部21への登録および口座番号をキーとして振込相手先情報を振込情報記憶部21から検索する機能を有する。振込実行部23は、指定された振込条件に従って振込処理を実行する部分であり、振込明細記管理部24は、振込依頼人名、振込相手先名、振込金額、振込日時等を表した振込明細を作成し記憶するものである。

【0035】通信部30は、ATM40から振込相手先の登録指示を受信する登録指示受信部31と、既に登録されている振込相手先を口座番号をキーとして検索する旨の検索指示を受信する検索指示受信部32と、検索結果の振込相手先情報をATM40へ返送する振込情報返送部33とを備えている。

【0036】ATM40は、ホストコンピュータ20との間で通信を行う通信部50と、ATM40の動作を統括制御する制御部41と、これに接続される各種周辺装置とから構成される。このうちカード読み取り部42は、キャッシュカードを投入する部分であり、投入されたキャッシュカードの磁気ストライプ部分に記憶されている内容を読み取る装置である。通帳読み書き部43は、預金通帳を投入する部分であり、記帳等を行う機能を備えている。なおキャッシュカードとしてICカードを用いる場合には、これに対応するカード読み取り部が採用される。

【0037】現金受渡部44は、現金で振込や預金を行う際に、紙幣等を投入する部分であり、投入された金額や紙幣が真正なものか否か等を検査する機能を備えている。また現金受渡部44は、口座から引き出された現金を操作者に受け渡す機能も果たす。レシート発行部45は、預け入れ、引き出しあるいは振込が行われた際に、その明細を印刷出力する部分である。

【0038】タッチパネル付きディスプレイ60は、各種操作案内や操作画面を表示するとともに、操作者から各種の入力操作を受け付ける機能を備えている。タッチパネル付きディスプレイ60は、指定方法選択部61、登録指示入力部62、識別子入力部63、振込先表示部64、振込情報入力部65、振込先特定部66等の機能を果たすようになっている。

【0039】このうち指定方法選択部61は、振込をキャッシュカードの口座から支払って行うか現金で行うか、および既に登録されている振込先の中から今回の振込先を選択するキャッシュ登録振込にするか、振込先等を新たに入力して振込を行うか等の選択を行うための画面を表示するとともに、操作者からの選択を受け付ける機能を果たす部分である。

【0040】振込情報入力部65は、振込相手先名や振込相手先の口座番号等を入力するための画面の表示およびそれらの入力受付を行う部分である。登録指示入力部62は、入力された振込先をホストコンピュータ20に登録するか否かを問い合わせる画面を表示して操作者の選択を受け付ける機能を果たす。識別子入力部63は、操作者がキャッシュカードから読み取った口座へのアクセス権を有するものであるか否かを確認するための識別情報（ここでは暗証番号）を入力する画面の表示と、その入力を受け付ける部分である。

【0041】振込先表示部64は、ホストコンピュータ20に登録されている複数の振込先を一覧表示する機能を果たし、振込情報入力部65は、一覧表示された振込先の中から今回の振込先を特定するための操作を受け付ける機能を果たす部分である。

【0042】制御部41の有する本人確認部47は、キャッシュカードから読み取った暗証番号と、タッチパネル付きディスプレイ60を通じて操作者の入力した暗証番号とを比較照合し、操作者が口座への正当なアクセス権を有する者であるか否かを判定する部分である。

【0043】通信部50は、振込情報送信部51と、検索指示送信部52と、振込情報受信部53とを備えている。振込情報送信部51は、入力された振込先等をホストコンピュータ20に登録する旨を示す振込情報登録指示を送信する機能を果し、検索指示送信部52は、既に登録されている振込相手先情報を口座番号を基に検索して返送する旨の振込情報検索指示を送出する部分である。振込情報受信部53は、ホストコンピュータ20から返送されてきた振込相手先情報を受信する機能を果たす部分である。

【0044】図3から図5は、振込情報記憶部21に口座番号と対応付けて振込相手先情報を登録する際のデータ構造を示したものである。図3の示すように口座番号ごとに、自動機登録振込レコード70とこれにリンクされる（配下にある）自動機登録明細レコード80とを備えている。自動機登録振込レコード70は、口座番号を

基にした検索の基本になるレコードであり、自動機登録明細レコード80は各振込相手先についての情報を登録するレコードである。自動機登録明細レコード80は、振込相手先ごとに設けられ、ここでは1つの自動機登録振込レコード70の配下に最大10個の自動機登録明細レコード80を設けることができるようになっている。

【0045】図4に示すように自動機登録振込レコード70は、このレコードの検索キーとしてのKEY部71と、採番カウンター72と、明細件数73と、支払人情報74と登録日75の各項目から構成されている。KEY部71は、振込区分と銀行店番科目口座番号(広義の口座番号)から成り、このうち振込区分は、口座番号をキーとした処理内容の拡張に備えて設けた拡張子である。

【0046】採番カウンター72は、自動機登録明細レコードの振込番号を取得するためのカウンターである。明細件数73は、自動機登録明細レコードのデータベース上の物理件数を把握するためのカウンターである。支払人情報74は、振込依頼人となる支払人名を表し、登録日75はキャッシュ登録振込が新規に登録された日付を示している。

【0047】自動機登録明細レコード80は、このレコードの検索キーとなるKEY部81と、振込番号82と、相手先情報83と、依頼人情報84と、登録日85およびその他の各種取引情報の項目から構成されている。

【0048】KEY部81には、振込相手先の名称、すなわち受取人名が登録される。自動機登録明細レコード80は、口座番号から自動機登録振込レコード70を検索することで見出すことができるほか、KEY部81の受取人名をキーとして自動機登録振込レコード70を介さずに別途検索することができるようになっている。振込番号82は、自動機登録明細レコード80を新規に登録した際における自動機登録振込レコード70の有する採番カウンター72の値を登録する部分である。KEY部81の受取人名だけでは、同名の者があるときレコードを区別できない。そこで、振込番号82は、KEY部81を基に検索する際に検索キーとして併用するようになっている。

【0049】相手先情報83には、振込先銀行番号、振込先支店番号、預金種目、受取人口座番号、受取人名、および受取人名口座確認未済表示とが登録される。受取人名口座確認未済表示は、振込相手先が他の銀行の口座である場合に、その口座の存在が確認済みであるか否かを示す情報である。依頼人情報84には、ATM40からの操作によって入力された振込依頼人名および依頼人電話番号が登録される。

【0050】次に作用を説明する。まず、振込先を口座番号に対応付けてATM40から新規登録する際の動作について説明する。図6から図13は、振込先を新規登

録する際にATM40のタッチパネル付きディスプレイ60上に表示される内容をそれぞれ表している。また図14は新規登録の際にATM40とホストコンピュータ20との間で行われる通信のシーケンスを表している。ここでは、振込先を手動操作で入力するとともに、支払いをキャッシュカードの示す口座から行う場合を示している。

【0051】図6に示す待機画面91で、「お振込み」が選択されると、振込方法を選択するための振込方法選択画面(図7、92)がタッチパネル付きディスプレイ60上に表示される。今回は、キャッシュカードの口座から支払うとともに振込先を手動操作で入力するので、操作者は、「キャッシュカードによるお振込の場合」の中の「振込カードなし」を選択する。

【0052】その後、キャッシュカードの投入を促す案内表示(図8、93)を行い、キャッシュカードが投入されると図9に示した暗証番号入力画面(94)を表示する。ここでキャッシュカードから読み取った暗証番号と同一の暗証番号が操作者によって入力されると、キャッシュカードの示す口座へのアクセス権が確認される。

【0053】その後、図示しない振込先情報入力画面がタッチパネル付きディスプレイ60上に表示され、操作者により振込先銀行名、振込先支店名、振込先口座番号等が順に入力される。振込に必要な情報がすべて入力されると、図14に示すようにATM40は、投入されたキャッシュカードに対応する口座と操作者によって入力された振込先口座との存在を確認するための振込照会電文101をホストコンピュータ20へ送信する。

【0054】ホストコンピュータ20は、振込先が他の銀行の場合を含め振込照会電文101で指定された口座の存在を検査し、その結果を照会結果電文102としてATM40へ返送する。口座が確認された後、ATM40のタッチパネル付きディスプレイ60上には図10に示す振込内容確認画面96が表示される。操作者によって振込内容が確認されると、図11に示す登録指示入力画面97が表示され、今回の振込内容をホストコンピュータ20に登録する場合には「はい」が選択される。

【0055】その後、図12の処理中画面98を表示している間に、ATM40は、ホストコンピュータ20へ向けて振込の実行を依頼する旨の振込実行電文103

(図14)を送信し、これを受けたホストコンピュータ20は、振込依頼人の口座から指定された振込先への振込を実行し、その結果(完了)を示す振込結果電文104をATM40へ返送する。ATM40は振込結果電文104を受信したとき、処理中画面を表示した状態のままで、今回の振込内容をホストコンピュータ20の振込情報記憶部21に登録する旨を表した登録指示電文(振込情報登録指示)105を送出する。

【0056】登録指示電文105を受けたホストコンピュータ20は、今回の振込先の口座番号等を含む振込相

手先情報を、ATM40に投入されているキャッシュカードから読み取られた振込依頼人の口座番号に対応付けて振込情報記憶部21へ登録する。具体的には、振込依頼人の口座番号をキーとして自動機登録振込レコード70を検索し、今回の振込相手先についての振込情報を登録した新たな自動機登録明細レコード80を自動機登録振込レコード70の配下にリンクする。なお、自動機登録振込レコード70は、口座を開設したとき振込情報記憶部21へ登録されるようになっている。

【0057】振込情報記憶部21への登録を完了した後、ホストコンピュータ20はATM40に向けて登録完了電文106を送出し、これを受けたATM40は、図13に示す取引終了画面（振込登録結果画面）99を表示し、一連の振込処理を終了する。

【0058】このように銀行側のホストコンピュータ20にATM40から振込依頼人の口座番号に対応付けて振込先を登録することができるので、事前に書面等で振込先の届出を行う必要がなく、振込依頼人および銀行双方の手間を削減することができる。また、暗証番号等の識別情報で口座へのアクセス権を確認してから、振込先の登録を受け付けるので、書面で届出を行う場合と同等に取引の安全性を確保することができる。

【0059】さらに、入力された振込先への振込を実行した後、操作者に今回の振込先をホストコンピュータ20に登録するか否かを問い合わせるので、確実に存在する振込先のみを登録することができる。また登録のためだけに別途振込先の入力操作を行う必要がなく、登録操作をより簡便なものにすることができる。なお、振込先の照会を行ってから登録すれば、必ずしも振込を実行しなくてもよい。

【0060】次に、ホストコンピュータ20の有する振込情報記憶部21に登録されている振込相手先をATM40から呼び出して一覧表示し、その中から今回の振込先を選択して振込を行う「キャッシュ登録振込」について説明する。

【0061】図15以降は、キャッシュ登録振込を行う際にATM40の有するタッチパネル付きディスプレイ60上に表示される内容をそれぞれ表している。また図19はキャッシュ登録振込の際にATM40とホストコンピュータ20との間で行われる通信シーケンスを表している。

【0062】図6に示す待機画面91で「お振込み」が選択されると、振込方法選択画面（図15、111）がタッチパネル付きディスプレイ60上に表示される。操作者が、「キャッシュ登録振込選択」を選択すると、キャッシュカードの投入を促す案内表示（図8、93）が表示される。ここでキャッシュカードが投入されると図9に示す暗証番号入力画面（94）に変わる。

【0063】そして、キャッシュカードから読み取った暗証番号と同一の暗証番号が操作者によって入力されて

アクセス権が確認されると、図12に示すような処理中画面98を表示するとともに、図19に示すようにATM40は、投入されたキャッシュカードの口座番号および当該口座番号に対応付けて登録されている振込先を検索して返送する旨を示す検索指示電文131（振込先検索指示）をホストコンピュータ20へ向けて送信する。

【0064】ホストコンピュータ20は、検索指示電文131で指定された口座番号を検索キーとして振込情報記憶部21を検索して当該口座番号の自動機登録振込レコード70を取得し、その配下にある自動機登録明細レコード80を順次読み出し、これらを所定の形式に編集した検索結果電文132を、検索指示電文131の送信元のATM40に返送する。

【0065】ATM40は、検索結果電文131を受信すると、これに含まれる受取人名のみを抽出しタッチパネル付きディスプレイ60上に一覧表示する（図16、112）。ここでは、受取人名を一度に5件まで表示することができ、受取人（振込相手先）がこれ以上存在する場合には、「前画面」、「次画面」の操作スイッチによって任意の5件を選択表示することができるようになっている。

【0066】振込依頼人である操作者は、タッチパネル付きディスプレイ60上に表示された受取人の中から今回の振込相手先をタッチパネルの該当箇所を押下して選択する。ATM40は振込相手先が選択されると、既に受信している検索結果電文132の中から選択された振込相手先に関する詳細情報を読み出し、これを図17に示すような振込先確認画面113として表示し、操作者から振込相手先について内容確認を受ける。その後、図18に示す振込金額入力画面114を表示する。

【0067】振込金額が設定された時点で処理中画面（図12）を表示するとともに、ATM40は、振込支払人等の照会を受けるため振込照会電文133をホストコンピュータ20へ向けて送出する。ホストコンピュータ20は、振込先が他の銀行の場合を含めて振込照会電文133で指定された支払人および振込先の口座の存在等を検査し、その結果を照会結果電文134としてATM40に返送する。

【0068】ATM40は、ホストコンピュータ20から照会結果電文134を受信すると、図10に示す振込内容確認画面96をタッチパネル付きディスプレイ60上に表示する。ここで依頼人名等の振込依頼人に関する情報は、ホストコンピュータ20の振込情報記憶部21に記憶されている自動機登録明細レコード80の依頼人情報84あるいは自動機登録振込レコード70の支払人情報74から読み出したものを基に作成される。

【0069】操作者により振込内容が確認されると、図12に示す処理中画面98を表示する。また、これを表示している間にATM40はホストコンピュータ20へ向けて振込の実行を依頼する旨の振込実行電文135

(図 1 9) を送信する。これを受けたホストコンピュータ 2 0 は、振込依頼人の口座から指定された振込先への振込を実行し、その結果 (完了) を示す振込結果電文 1 3 6 を A T M 4 0 へ返送する。

【 0 0 7 0 】 A T M 4 0 は振込結果電文 1 3 6 を受信したとき、処理中画面 9 8 を表示した状態のまま、今回の振込内容で振込情報記憶部 2 1 の登録内容を最新のものに更新する旨の登録更新電文 1 3 7 を送出する。登録更新電文 1 3 7 を受けたホストコンピュータ 2 0 は、今回の振込先および支払人についての登録内容を最新のものに更新し、更新完了電文 1 3 8 を A T M 4 0 に返送する。これを受けた A T M 4 0 は、図 1 3 に示す取引終了画面 9 9 を表示し、一連のキャッシュ登録振込処理を終了する。

【 0 0 7 1 】 このようにキャッシュカードを投入し本人確認が行われた段階で、当該口座番号に対応付けて登録されている振込先を銀行側のホストコンピュータ 2 0 の有する振込情報記憶部 2 1 から検索して A T M 4 0 の画面上に一覧表示するので、専用の振込カードを併用することなくキャッシュカードのみを用いて、入力操作を削減した振込動作を行うことができる。

【 0 0 7 2 】 なお、先の例では登録されている振込相手先が 5 件以上あるとき、タッチパネル付きディスプレイ 6 0 上に受取人名を 5 件ずつ表示するようにしたが、登録済みの振込相手先が多数存在する場合には、表示対象を絞り込むための検索情報を操作者から受け付け、当該検索情報に合致する振込相手先のみを表示ようにしてもよい。

【 0 0 7 3 】 たとえば、振込相手先が 3 0 件以上存在する場合には、一覧表示を行う前に、受取人名をその先頭から任意の文字数だけ指定するための検索画面を表示し、入力された文字列を含む受取人名のみを一覧表示するようにしてもよい。このようにすることで、多数の振込相手先の中から今回の振込先を迅速かつ容易に選択することが可能になる。

【 0 0 7 4 】 なお、検索指示電文 1 3 1 を送信する前に、検索画面を表示して受取人名を絞り込むための文字列を受け付け、入力された文字列を含む振込相手先の情報のみを検索結果電文 1 3 2 として編集し、これをホストコンピュータ 2 0 から A T M 4 0 へ返送するようにしてもよい。

【 0 0 7 5 】 次に、月次定例的な振込を行う旨の自動送金契約を A T M 4 0 から締結する場合について説明する。

【 0 0 7 6 】 A T M 4 0 は、図示しない画面で、自動送金契約の締結処理が選択された場合、投入されたキャッシュカードの暗唱番号と操作者から入力された暗唱番号の照合によってアクセス権を確認した後、タッチパネル付きディスプレイ 6 0 を介して自動送金契約を締結するために必要な各種情報の入力を受け付ける。

【 0 0 7 7 】 ここでは、振込依頼人名、振込依頼人の電話番号、振込金額、振込指定日、取扱終了月、残高不足時の取扱方法等についての入力を受けるようになっている。A T M 4 0 は、これら入力された情報とキャッシュカードから読み取った口座番号とを含む経常振込登録指示をホストコンピュータ 2 0 に送出する。これを受けたホストコンピュータ 2 0 は、自動送金契約の内容を振込依頼人の口座番号に対応付けて振込情報記憶部 2 1 あるいは別途設けた所定の記憶部に登録し記憶する。

10 【 0 0 7 8 】 ホストコンピュータ 2 0 は、記憶されている月次定例的な振込情報を毎日検索し、振込指定日が本日の日付と一致するものを抽出し、この振込条件に従って自動振込を実行する。このように A T M 4 0 から月次定例的な振込を行う旨の自動送金契約を締結することができるので、家賃の振込等を A T M 4 0 から毎月行う手間が省けるとともに、その契約を容易に締結することができるので、より一層利用者の便宜を図ることができる。

20 【 0 0 7 9 】 ところで、銀行窓口以外から資金移動を受け付けるときは、取引の安全を確保するため、書面等により事前に振込先の届出が必要であった。特にインターネットバンキングなどでは、振込先が支払人によって認証されていることをインターネット等通信回線を通じて送られてくる情報から十分な確実性をもって確認することが困難であった。このため、従来は振込先について事前の届出が必須になっていたが、A T M 4 0 から口座番号に対応付けて登録してある振込先は、その口座へのアクセス権を確認した後に登録したものであるもので、支払人の認証を受けた振込先として取り扱っても取引の安全性を十分に確保することができる。

30 【 0 0 8 0 】 そこで、エレクトロニックバンキングやインターネットバンキングあるいは電話による資金移動を受け付ける際に、ホストコンピュータ 2 0 の振込情報記憶部 2 1 にその依頼人の口座番号と対応付けて既に登録されている振込先を、支払人の認証を受けた振込先として用い、書面等による事前届出を不要にしている。

40 【 0 0 8 1 】 以上説明した実施の形態では、1 つの自動機登録振込レコード 7 0 に対応付けて記憶可能な自動機登録明細レコード 8 0 を 1 0 件までに制限したが、配下に置くことのできる自動機登録明細レコード 8 0 の数はこれに限らず、また無制限にしてもよい。なお、銀行店番科目口座番号を検索キーにしているので、振込先のみならず支払人の口座も他の銀行に開設されたものでよい。また、実施の形態では示していないが、既に登録されている振込先を A T M 4 0 から削除したり、登録内容の変更ができるようにするとよい。

【 0 0 8 2 】

50 【発明の効果】 本発明にかかる振込管理装置によれば、A T M から銀行側のホストコンピュータに振込先を振込依頼人の口座番号に対応付けて登録することができるので、事前に書面等で振込先の届出を行う必要がなく、振

込依頼人および銀行側双方の手間を削減でき、利便性を向上することができる。また、暗証番号等の識別情報で口座へのアクセス権を確認してから振込先の登録を受け付けるので、書面等で届出を行う場合と同等に取引の安全性を確保することができる。

【0083】また、次回以降の振込において、既に登録してある振込先を銀行側のホストコンピュータから呼び出してATMの画面上に一覧表示し、それらの中から今回の振込先を選択することができるので、専用の振込カードを併用することなくキャッシュカードのみを用いて入力操作を削減した振込処理を行うことができ、利用者へのサービス向上を図ることができる。

【0084】さらに、口座番号に対応付けて既に登録されている振込先を、エレクトロニックバンキング等でその口座からの資金移動を受け付ける際における認証された振込先として用いるので、振込先の事前届出が必要なく、エレクトロニックバンキング等の有する即時性・利便性を十分に生かすことができる。また、ATMから登録した振込先はその口座へのアクセス権を確認した後に行われるので、これをエレクトロニックバンキング等における振込先として用いても取引の安全性を十分に確保することができる。また、ATMから月次定例的な振込を行う旨の自動送金契約を締結することができるので、家賃の支払など継続的な振込を容易に行うことができる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施の形態に係る振込管理装置の構成を示すブロック図である。

【図2】本発明の一実施の形態に係る振込管理装置の動作概要を示す説明図である。

【図3】本発明の一実施の形態に係る振込管理装置の振込情報記憶部に記憶される情報のデータ構造を示す説明図である。

【図4】自動機登録振込レコードの登録内容を示す説明図である。

【図5】自動機登録明細レコードの登録内容を示す説明図である。

【図6】本発明の一実施の形態に係る振込管理装置のATMに表示される待機画面を示す説明図である。

【図7】本発明の一実施の形態に係る振込管理装置のATMに表示される振込方法選択画面を示す説明図である。

【図8】本発明の一実施の形態に係る振込管理装置のATMに表示されるキャッシュカードの投入案内画面を示す説明図である。

【図9】本発明の一実施の形態に係る振込管理装置のATMに表示される暗証番号入力画面を示す説明図である。

【図10】本発明の一実施の形態に係る振込管理装置のATMに表示される振込内容確認画面を示す説明図であ

る。

【図11】本発明の一実施の形態に係る振込管理装置のATMに表示される登録指示入力画面を示す説明図である。

【図12】本発明の一実施の形態に係る振込管理装置のATMに表示される処理中画面を示す説明図である。

【図13】本発明の一実施の形態に係る振込管理装置のATMに表示される取引終了画面を示す説明図である。

10 【図14】本発明の一実施の形態に係る振込管理装置が振込先を新規登録する際にATMとホストコンピュータとの間で行う通信シーケンスを示す説明図である。

【図15】本発明の一実施の形態に係る振込管理装置のATMに表示される振込方法選択画面を示す説明図である。

【図16】本発明の一実施の形態に係る振込管理装置のATMに表示される振込先一覧表示画面を示す説明図である。

20 【図17】本発明の一実施の形態に係る振込管理装置のATMに表示される振込先確認画面を示す説明図である。

【図18】本発明の一実施の形態に係る振込管理装置のATMに表示される振込金額入力画面を示す説明図である。

【図19】本発明の一実施の形態に係る振込管理装置がキャッシュ登録振込の際にATMとホストコンピュータとの間で行う通信シーケンスを示す説明図である。

#### 【符号の説明】

10…振込管理装置

11…通信回線

30 20…ホストコンピュータ

21…振込情報記憶部

22…登録検索部

23…振込実行部

24…振込明細記管理部

30…通信部

31…登録指示受信部

32…検索指示受信部

33…振込情報返送部

40…ATM

40 41…制御部

42…カード読み取り部

43…通帳読み書き部

44…現金受渡部

45…レシート発行部

47…本人確認部

50…通信部

51…振込情報送信部

52…検索指示送信部

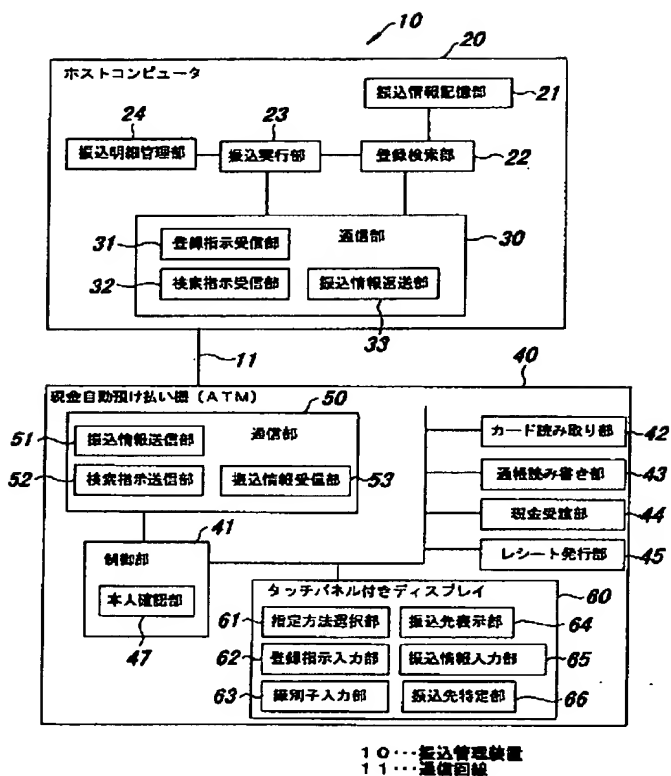
53…振込情報受信部

50 60…タッチパネル付きディスプレイ

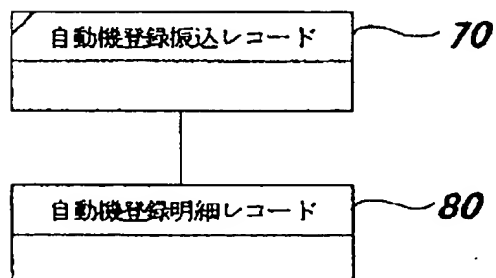
21

- 61…指定方法選択部
- 62…登録指示入力部
- 63…識別子入力部
- 64…振込先表示部
- 65…振込情報入力部
- 66…振込先特定部
- 70…自動機登録振込レコード

【図1】



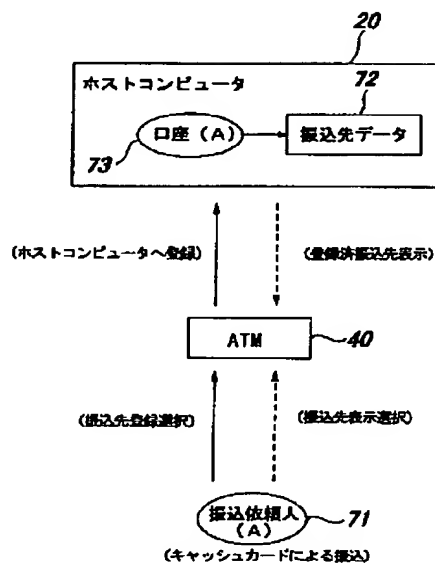
【図3】



22

- 71…KEY部
- 74…支払人情報
- 80…自動機登録明細レコード
- 81…KEY部
- 83…相手先情報
- 84…依頼人情報

【図2】



【図4】

71	KEY部	振込区分: 1 (キャッシュカード) + キャッシュカード発行店番科目口座番号
72	振込金額	+1
73	明細件数	+1
74	支払人情報	お名・CIF 番号: QMR 財源引先名
75	登録日	本日付

【図5】

【図6】

80

81	KYE 部	受取人名 (姓)
82	振込行	「自助振込システム 振込センター」
83	相手先情報	振込先銀行番号 振込先支店番号 振込口座番号 受取人名 (姓・名字) 受取人名口座番号 受取人名口座種別 ※本支店口座の場合振込名も同席 ※他行口座にて口座種別が未詳時
84	振込人情報	振込人名 (姓・名字) 振込人名口座番号 振込人名口座種別 ※同席の場合は SPACE を入力する ※次回取引時には当該内容が自動的に記憶される
85	記録日	本日付
86	以外	異性初期値

いらっしやいませ

81

出金・借入れ	キャッシング	
1万円	3万円	5万円
お預け入れ	定期預金	
お振込み	お振込み	お振込み
お振込み	お振込み	お振込み

【図10】

【図7】

【図8】

【取引】 お振込みの方法をお選びください

82

現金によるお振込みの場合		
振込カード	振込カード	
あり	なし	
キャッシュによるお振込みの場合		
振込カード	振込カード	キャッシュ
あり	なし	あり

【取引】

83

カードをお入れください

【取引】 お振込みの内容をお確かめの上お振込みをお願いします

86

振込先銀行名	NNNNNNNNNNNNNNNNNNNN
振込先支店名	NNNNNNNNNNNNNNNNNNNN
口座番号	00-0000000000000000
お振込人名	NNNNNNNNNNNNNNNNNNNN
お振込人名	NNNNNNNNNNNNNNNNNNNN
お振込人名	NNNNNNNNNNNNNNNNNNNN
お振込金額	00000000円
お振込手数料	00000000円
お振込手数料	00000000円

【図13】

【図9】

【図11】

【取引】 【訂正】

84

お振込み番号を入力

お振込み番号をお押し下さい

0	1	2	3
4	5	6	7
8	9	0	

【図12】

【図15】

【取引】

87

（今回も同一内容でお振込み  
なさるとは、振込カードのキャッシュ  
機能をご利用になると便利です。）

今回のお振込みの内容をお確かめますか

はい

いいえ

89

お取引が終了しました

ご利用ありがとうございました

【図16】

88

ただいま処理中です

そのままだらうお待ちください

【図18】

【取引】 お振込みの方法をお選びください

88

現金によるお振込みの場合		
振込カード	振込カード	
あり	なし	
キャッシュによるお振込みの場合		
振込カード	振込カード	キャッシュ
あり	なし	あり

【取引】 【訂正】

112

お振込みならぬお振込みをお振込みください

お振込人名

1	NNNNNNNNNNNNNNNNNNNN
2	NNNNNNNNNNNNNNNNNNNN
3	NNNNNNNNNNNNNNNNNNNN
4	NNNNNNNNNNNNNNNNNNNN
5	NNNNNNNNNNNNNNNNNNNN

（次画面）

【取引】 【訂正】

114

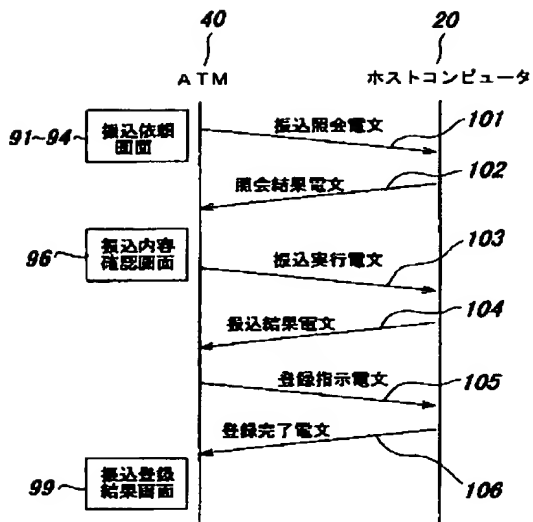
お振込金額 00000000円

お振込金額をお押しください

0	1	2	3
4	5	6	7
8	9	0	

万 千 円

【図 14】



【図 17】

【取引】 選択されたお振込み先の内容をお確かめのうえ をお押しください	【訂正】	【確認】
振込先銀行名	NNNNNNNNNNNNNNNNNN	113
振込先支店名	NNNNNNNNNNNNNNNNNN	
口座番号	00-00000000000000	
お受取人名	NNNNNNNNNNNNNNNNNN	

【図 19】

